

秋林たかし ちば県政報告

令和2年 春号



令和2年2月定例県議会の代表質問で取り上げた、千葉県における課題に関する質疑の一部をご報告いたします。

新型コロナウイルス対策を！

Q 新型コロナウイルスの感染拡大によって県内経済に影響が出ているが、県としてどのように対応していくのか。

A 森田県知事より

※ 国際的に広がりを見せる新型コロナウイルスについては、中国からの渡航制限もあり、県内においても、宿泊業や飲食業などに影響が生じています。

国は緊急対応策を発表し、日本政策金融公庫からの貸付等により、中小企業の資金繰りを支援するほか、雇用対策として、雇用調整助成金の支給要件の緩和などを行うこととしています。

※ また、県では、こうした各種支援策の周知を行うとともに、事業者からの金融面、経営面の相談に対応する窓口を設置し、必要な運転資金等の調達を支援しています。

※ さらに、観光業等における影響が大きいことを踏まえ、今後の動向に留意しつつ、国や市町村等とも連携しながら、正しい情報の伝達と観光のPRなどに努めてまいります。

災害対策強化を！

Q 千葉県被災者生活再建支援事業の要件緩和をすべきと思うがどうか。

A 高橋副知事より

※ 本事業は、国の被災者生活再建支援制度の適用要件を緩和し、同一災害により連たんした地域で10世帯以上

の全壊被害が発生した場合であれば、国と同等の支援金を被災世帯に支給するものです。

※ しかしながら、今後、台風第15号のような広範囲にわたる風害によって、連たんしていない地域で散発的に全壊被害が発生した場合など、現在の国や県の適用要件では対応できない事例が生じることも考えられます。

※ 本事業は国の制度と同様、被災者の生活再建を支える主要な支援策であることから、今後の災害発生に備え、適用要件の緩和について検討してまいります。

出入口の段差をなくしたノンステップバスの導入促進を！

Q ノンステップバスの導入状況はどうか。また、導入率100%に向けて、今後も積極的に取り組むべきと思うがどうか。

A 高橋副知事より

※ 平成30年度末の県内のノンステップバスの導入状況は、高速バスなどの特殊車両を除いた対象車両数2,151台の約65%にあたる1,409台において導入されています。

※ 一方、ノンステップバスへの更新は、多額のコストがかかるため、規模バス事業者にとって負担が大きいといった課題に



加え、近年、事業者の中には、高速バス等への安全対策を優先するといった動きもあります。

※ しかしながら、ノンステップバスの導入は、高齢者等の利便性向上や、公共交通の利用促進にもつながることから、県としては、まずは、令和2年度末の国の目標値70%の達成に向けて取り組むとともに、今後とも国や事業者と連携し、導入率の向上に努めてまいります。

医療的ケアが必要な子への支援強化を！

Q 医療的ケア児やその家族への支援を進めるためには、短期入所事業所等への県補助金の増額や、学校卒業後に通う生活介護等の施設整備により事業所の拡充を進めるべきではないか。

A 滝川副知事より

※ 県では医療的ケアを必要とする重症心身障害児者等の福祉型短期入所事業所や障害児通所支援事業所等での受け入れ先を確保するため、看護師の配置等、一定の要件を充たした事業所に対し、補助を行うとともに、国の制度を活用し、生活介護事業所等の施設整備にも補助を行っているところです。

※ 一方、新たに医療的ケアを行う看護師等の人材の確保を行うことが難しいという課題もあり、県としては、医療的ケア児等支援地域協議会の議論を踏まえ、人材の更なる育成や、好事例の収集、発信など、事業所等の支援を進めているところです。

※ 今後も引き続き、協議会において支援策を検討しつつ、医療的ケア児やその家族の支援を進めてまいります。

ひとり親家庭の医療費助成を現物給付に！

Q ひとり親家庭等医療費等助成事業について、立て替え払い等のいらぬ現物給付化はいつから実施するのか。

A 森田知事より

※ 本制度は、ひとり親家庭等の経済的負担を軽減するため、医療費等にかかる自己負担分に対し助成する制度であり、現物給付化は医療機関の窓口での支払いや償還払いの手続きの負担軽減となることから、早期に実施する必要があると認識しています。

※ 現物給付化の実施に向けては、実施主体である市町村や千葉県医師会など関係機関と協議を進めるとともに、審査支払機関における医療費の請求システムの改修や、県民への制度周知を図り、令和2年度中の移行を目指してまいります。

トピックス

生活道路や通学路の交通安全対策の一つとして、持ち運びができる可搬式速度違反自動取締装置（移動式オービス）の導入を訴えてきましたが、昨年12月より千葉県においても運用がスタートしました。設置した付近の学校関係者からは「通過する車両の速度が明らかに下がった。児童の安全のため、今後も取り締まりをお願いしたい」との声が届いています。

令和2年度予算の中で移動式オービスの増強の予算が確保されています。